

# ふくい環境

令和3年度版



福井市

# はじめに

本書は、福井市の環境に関する様々な取組の成果や環境の状況を取りまとめたものです。多くの皆様方にご活用いただき、環境問題や環境行政に関する理解を深め、環境の保全と創造に向けた活動の一助となれば幸いです。

## 目次

はじめに・目次	2
ご案内	3
<b>第1部 特集 令和2年度のトピックス</b>	<b>4</b>
1 「ゼロカーボンシティ」を宣言しました	5
2 第4次環境基本計画を策定しました	6
3 資源回収拠点「わかるば」が増えました	9
4 全ての店舗でレジ袋有料化が始まりました	9
<b>第2部 第3次福井市環境基本計画</b>	<b>10</b>
1 最終年度における達成状況	10
2 福井市環境推進会議の活動実績	12
<b>第3部 福井市の環境状況</b>	<b>13</b>
1 自然環境	13
2 地球温暖化	14
3 環境教育・啓発	15
4 大気	16
5 公共用水域の水質	19
6 地盤沈下	20
7 騒音	21
8 化学物質	22
9 ごみの排出と処理状況	23
10 美しいまちづくり	24



## 1 資料編のご案内！

この「ふくいの環境令和3年度版」は、令和2年度の福井市の環境について、その概要をまとめたものです。詳細なデータ等につきましては、福井市環境政策課のホームページに「ふくいの環境 資料編」を掲載します。どうぞ、ご活用ください。

## 2 清掃事業概要のご案内！

本誌中に記載しました福井市の清掃事業の詳細につきましては、福井市環境政策課のホームページに「令和3年度 福井市清掃事業概要」を掲載します。どうぞ、ご活用ください。

## 3 本誌中の写真について

本誌中に掲載しました写真につきまして、提供元等は下記のとおりです。  
( 表紙写真：カワセミ 提供：福井市自然史博物館 )

# 第1部 特集 令和2年度のトピックス

## 1 「ゼロカーボンシティ」を宣言しました



令和3年3月24日、市長記者会見で、「第4次環境基本計画」の策定に併せて、2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロ「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを宣言しました。

## 2 第4次福井市環境基本計画を策定しました



良好な環境の保全と創造のための施策を総合的かつ計画的に進めていくため、平成12年度に策定した福井市環境基本計画は、平成23年、平成28年の改正を経て現在に至ります。

この間の社会情勢の変化や環境の状況と課題等を踏まえ、目指す環境像の達成に向け、施策や指標の設定等を見直すために再び改定を行い、「第4次環境基本計画」としました。

## 3 資源回収拠点「わけるば」が増えました



令和3年1月4日、家庭から出る空きびんや空き缶などの資源物を無料で持ち込むことができる資源回収拠点「わけるば」を福井市クリーンセンターに開設しました。資源物を収集日に出しそびれた場合や、資源物が大量に出た場合などに持ち込むことができます。

4か所目となる「わけるば」の開設により、これまで以上に分別を促し、ごみの削減と資源化を促進します。

## 4 全ての店舗でレジ袋有料化が始まりました



令和2年7月1日から、全国で「プラスチック製買物袋（いわゆるレジ袋）」が有料になりました。

福井市では、平成21年からほとんどのスーパーなどでレジ袋の有料化が行われていましたが、コンビニエンスストアなど全ての店舗において有料化されました。

# 1 ゼロカーボンシティを宣言しました

## 1 ゼロカーボンシティとは

環境省では、「2050年にCO<sub>2</sub>（二酸化炭素）を実質ゼロにすることを旨とする首長自らが又は地方自治体として公表された地方自治体」を「ゼロカーボンシティ」と定義しています。

地球温暖化対策の推進に関する法律では、都道府県及び市町村はその区域の自然的社会的条件に応じて、温室効果ガスの排出量の削減等のための総合的かつ計画的な施策を策定し、実施するように努めることとしています。

こうした制度も踏まえ、昨今「ゼロカーボンシティ」を表明する地方自治体は増えています。

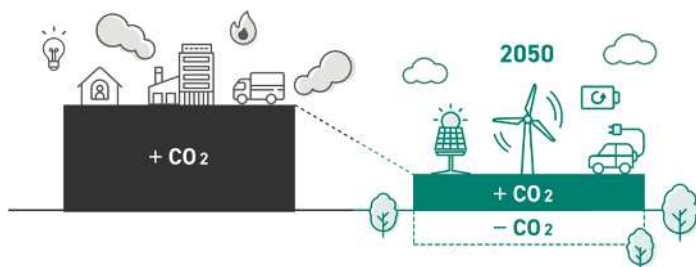
福井市も令和3年3月24日、市長記者会見で、「第4次環境基本計画」の策定に併せて、2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロ「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを宣言しました。



ゼロカーボンシティを表明している自治体：598（令和4年2月28日現在）

## 2 二酸化炭素排出量実質ゼロ（カーボンニュートラル）とは

エネルギー消費等に伴い排出される二酸化炭素などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と森林等の吸収源間の均衡を達成することです（環境省）。



出典：環境省ホームページ  
([http://ondankataisaku.env.go.jp/carbon\\_neutral/about/](http://ondankataisaku.env.go.jp/carbon_neutral/about/))

## 3 ゼロカーボンシティ達成のための本市の取組

温暖化対策には市民一人ひとりの意識改革や協力が欠かせないことから、本市では平成29年に、省エネ・低炭素型の製品、サービスの利用、ライフスタイルの選択など、温暖化対策に繋がるあらゆる「かしこい選択」をしていこうという国民運動「COOL CHOICE（クールチョイス）」に賛同し、「家庭での電気使用量が多い」、「車の保有台数が多い」、「地産地消率が高い」という本市の特性を踏まえた「COOL CHOICE FUKUI」事業を実施しています。

このほか、事業者が自らの環境取組について情報を交換する「企業交流会」の開催や、食品ロスや身近な緑の保全など、様々なテーマを設けた環境学習講座を開催しており、市民とともに温暖化対策に取り組む活動に力を入れているところです。

今後も、国等の支援を最大限に活用しながら本市の取組を推進するとともに、市民や事業者などとも連携して、各方面からの協力を仰ぎながら温室効果ガスの削減に取り組んでまいります。

## 2 第4次福井市環境基本計画を策定しました

### 計画の期間

令和3年度から令和7年度までの5年間

### 計画の基本方針

< 目指す環境像 >

未来へつなごう 環境にやさしい持続可能なまち・ふくい



### 基本方針

— 全員が協力して計画を推進します —

1. 豊かな自然や生き物を守り育て、将来に伝えます
2. 快適な暮らしを守り、水と緑が豊かな都市環境を創出します
3. 温室効果ガスの排出を減らし、気候変動の影響に適応した社会づくりを進めます
4. ごみを減らし、資源を大切にする循環型社会づくりを進めます
5. 市民・市民組織・事業者・行政が、共に環境を考え、共に行動できる人づくり・まちづくりを進めます

### 「持続可能な開発目標（SDGs）」との関係

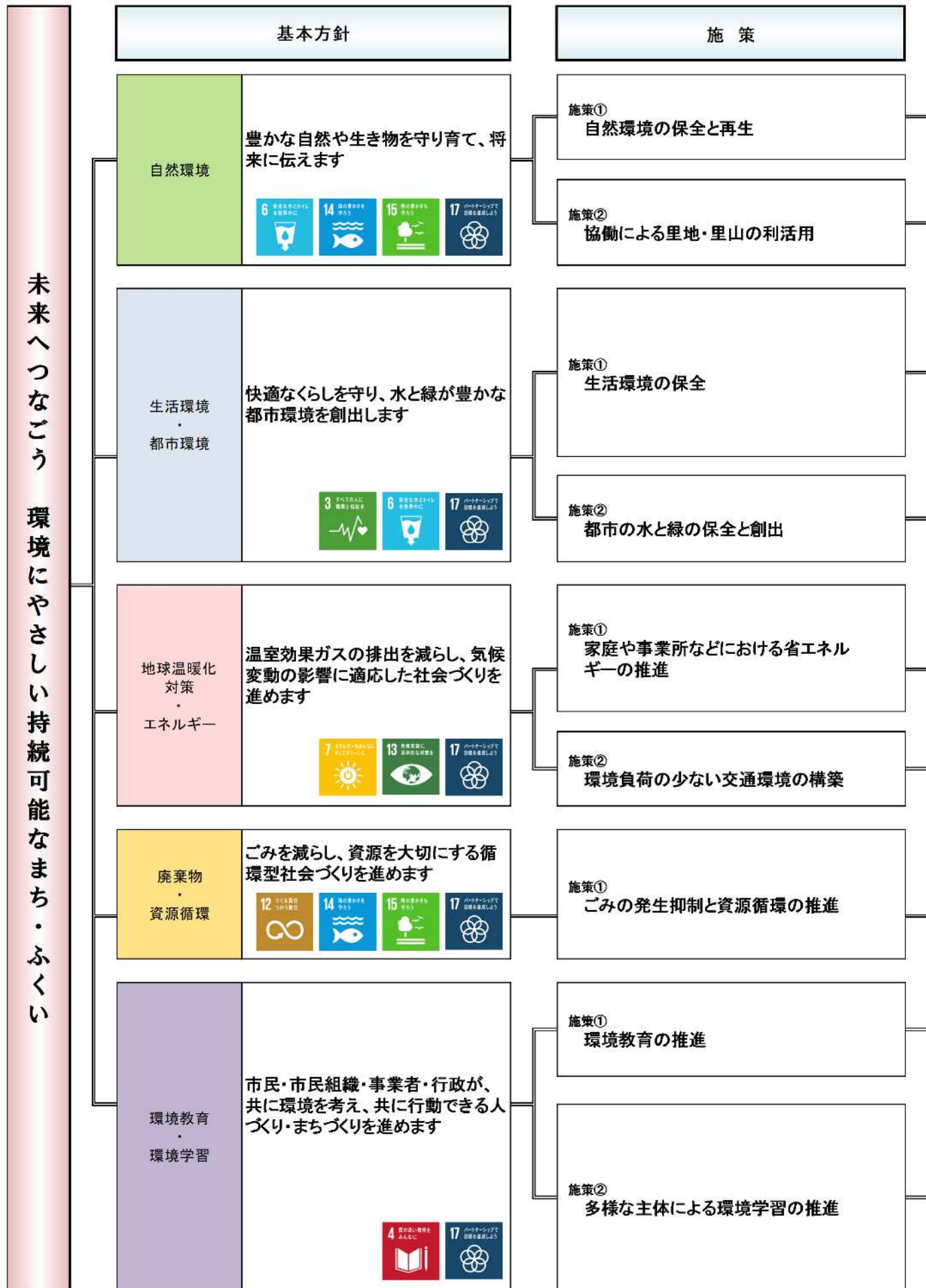
平成27年に国連が採択した2030アジェンダは、「環境」「経済」「社会」に関わる17のゴールと、このゴールに関連した169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」を、世界共通の達成目標として掲げました。そして、SDGsのゴールを達成するためには、あらゆる関係主体のパートナーシップの促進が必要であると宣言しました。

本市においても、市民、市民組織、事業者など、あらゆる関係主体とのパートナーシップを促進し、「環境」という側面における個々の課題を解決することにより、あわせて「経済」「社会」といった複数のSDGsのゴールの達成に貢献（マルチベネフィット）していくことを目指します。

持続可能な開発目標（SDGs）の17のゴール（目標）「だれ一人取り残さない」



# 施策の体系



主な具体的取組	環境指標	現状 (R元)	目標 (R7)	マルチベネフィット	
<ul style="list-style-type: none"> <li>市内各所の自然と生き物の調査</li> <li>希少生物や外来生物に関する情報の収集</li> <li>適切な除間伐、健全な森林の育成</li> </ul>	福井市の優れた自然の調査実施数(箇所)	8	10	   	
	間伐面積(除伐面積含む)(ha)	1,624	2,000		
<ul style="list-style-type: none"> <li>自然や生き物とふれあう活動の実施</li> <li>市民や市民組織、事業者など多様な主体と協働した生態系を守るための取組</li> </ul>	足羽山どんぐりプロジェクト育苗協力学校数(校)	-	50 (市立小)		
	環境ボランティア制度登録者数(人)	193	430		
<ul style="list-style-type: none"> <li>大気等の環境情報の収集と提供</li> <li>污水处理施設の整備</li> <li>公害の未然防止のための取組</li> <li>地域の清掃活動等への参加、協力</li> </ul>	大気、水質(河川・海域)における環境基準達成率(%)	100	100	   	
	大気、水質等におけるダイオキシン類の環境基準達成率(%)	100	100		
	有害大気汚染物質の環境基準達成率(%)	100	100		
	污水处理人口普及率(公共下水道・農業集落排水・合併浄化槽)(%)	96.4	100		
<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な河川の水辺環境の整備</li> <li>まちなかにおける緑の創出</li> <li>河川や緑地の維持管理</li> <li>河川・公園の美化活動の推進</li> </ul>	都市公園面積(ha)	380.26	385.91		
	都市環境美化活動団体数(団体)	74	92		
<ul style="list-style-type: none"> <li>ZEH、ZEBなど住宅や建物における省エネの普及促進</li> <li>再生可能エネルギーの普及促進</li> <li>気候変動の影響への適応</li> <li>クリーンエネルギー車の普及</li> <li>COOL CHOICE FUKUI の推進</li> </ul>	温室効果ガス排出量(千t-CO <sub>2</sub> /年)	2,171	1,954以下 (10%削減)		   
	年間エネルギー消費量(百万MJ/年)	31,444	28,928以下 (8%削減)		
	クールチョイス賛同者数(人)	8,740	18,000		
<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通機関の利便性向上と利用促進活動</li> <li>歩行者・自転車利用者が移動しやすい環境の整備</li> </ul>	公共交通機関の乗車人数(万人/年)	895	902		
	市民1人1日当たりのごみ排出量(g)	892	850以下 (R5年度)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>3Rの促進(ごみの発生抑制・再使用・再生利用)</li> <li>事業活動の廃棄物の減量化と資源化(給食の残渣減量など)</li> <li>環境に配慮した商品の購入(グリーン購入など)</li> </ul>	燃やせるごみへの資源物混入率(%)	22.4	21以下 (R5年度)		
	ふくいマル優エコ事業所登録数(社)	45	70		
	「福井市環境学習プログラム」の取組や教職員研修会の開催	福井市環境学習プログラム取組校(校/年)	69 (市立幼小中)	69 (市立幼小中)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>環境講座や学習会の開催</li> <li>環境学習会などへの講師派遣、参加、協力</li> <li>環境負荷を低減する取組を実施している事業者などの広報</li> <li>市民・事業者・行政など、あらゆる関係主体間の連携強化</li> <li>市民・事業者などと協働した環境学習等の実施、参加、協力</li> </ul>	環境学習会参加者数(人)	7,196	10,000	   	
	市民・事業者・行政などが協働した環境取組数(回/年)	3	15		



### 3 資源回収拠点「わけるば」が増えました

令和3年1月4日、家庭から出る空きびんや空き缶などの資源物を無料で持ち込むことができる資源回収拠点「わけるば」を福井市クリーンセンターに開設しました。資源物を収集日に出しそびれた場合や、資源物が大量に出た場合などに持ち込むことができます。

#### 実施内容

- 1 開設日 令和3年1月4日(月)
- 2 場所 福井市クリーンセンター(福井市寮町50-41)
- 3 営業時間 福井市クリーンセンターの営業時間内  
(月～金(祝祭日を除く)、第2日曜日 8:30～17:00)
- 4 回収品目
  - ・空き缶
  - ・空きびん(無色、青・緑、茶、黒)
  - ・ペットボトル
  - ・蛍光灯(直管、丸管)
  - ・乾電池
  - ・古紙類(新聞・チラシ、雑誌・雑がみ、段ボール・紙製容器)事業所から出た資源物は持ち込めません。



福井市クリーンセンター



### 4 全ての店舗でレジ袋有料化が始まりました

令和2年7月1日から、全国で「プラスチック製買物袋(いわゆるレジ袋)」が有料になりました。

福井市は独自の取組として、平成21年からほとんどのスーパーなどでレジ袋の有料化が行われていましたが、法律によりコンビニエンスストアなど全ての店舗が有料化の対象となりました。

この取組は、海洋プラスチックごみ問題をはじめとする環境問題の解決に向け、 unnecessary プラスチックごみを減らすことを目的としています。

この有料化を機会に、ワンウェイプラスチック(使い捨てのプラスチック製品)が本当に必要かを考えていただき、「外出する際は、エコバッグやマイボトルを持ち歩く」等、できることからプラスチックを賢く使う工夫をしてみましょう。

皆様のご協力をお願いします。



海岸に漂着したプラスチックごみ  
福井市鮎川町(令和元年6月10日撮影)

# 第2部 第3次福井市環境基本計画

## 1 最終年度における達成状況

本市は、令和3年3月に「第4次福井市環境基本計画」を策定し、令和3年度から計画期間が始まったところです。ここでは、この前計画にあたる「第3次福井市環境基本計画（計画期間：平成28年度～令和2年度）」について、目標の達成状況を取りまとめたので、報告します。

### 1 自然環境

施策 自然環境の保護・利活用の推進



環境指標	基準年 (H26)	H28	H29	H30	R1	R2実績 (目標)
自然活動促進事業補助件数(件)	12	16	18	20	21	累計23 (累計20)
間伐面積(除伐面積含む)(ha/年)	385	428	850	1,205	1,624	累計2,019 (累計2,000)

施策 協働による里地・里山の保護と利活用

環境指標	基準年 (H26)	H28	H29	H30	R1	R2実績 (目標)
「守り伝えたい福井市の優れた自然」掲載箇所における自然活動実施数(箇所)	2	6	8	10	12	14 (全14箇所)
環境ボランティア制度登録者数(人)	0 (H27設置)	104	120	153	193	213 (100)

### 2 生活環境・都市環境

施策 生活環境の保全

環境指標	基準年 (H26)	H28	H29	H30	R1	R2実績 (目標)
二酸化窒素の環境基準達成率(%)	100	100	100	100	100	100 (100)
河川BODの環境基準達成率(%)	100	100	100	100	100	100 (100)
環境法令に基づく事業場への立入調査件数(件)	103	115	108	111	137	133 (120)
汚水処理施設人口普及率(%) (公共下水道・農業集落排水・合併浄化槽)	93.7	94.7	95.2	95.8	96.4	97.0 (100)

施策 都市の水と緑の保全と創出

環境指標	基準年(H26)	H28	H29	H30	R1	R2実績 (目標)
都市公園面積(ha)	358.53	366.18	371.08	379.37	380.26	380.26 (364.94)
都市環境美化活動団体数 (河川・公園)(団体)	48	61	69	71	74	75 (109)

環境のしくみ

### 3 地球温暖化対策・エネルギー

#### 施策 低炭素型社会への転換

環境指標	基準年(H26)	H28	H29	H30	R1	R2実績 (目標)
福井市における温室効果ガス排出量(千t-CO <sub>2</sub> )	2,544	2,533	2,429	2,214	2,171	公開待ち (2,290) (10%削減)
年間エネルギー消費量(百万MJ/年)	36,199	36,382	36,957	32,839	31,444	公開待ち (33,300) (8%削減)
太陽光発電設備の導入件数(件)	2,711	3,194	3,340	3,562	3,787	4,008 (3,350)

国の都道府県別エネルギー消費統計等は、令和4年中に公開見込。

#### 施策 環境負荷の少ない交通環境の構築

環境指標	基準年(H26)	H28	H29	H30	R1	R2実績 (目標)
公共交通機関の乗車人数(千人/年)	10,265	10,757	10,943	11,024	10,765	7,705 (10,480)
自転車利用率(%)	14(H22)	—	—	—	-	公開待ち (16)

国勢調査の結果は、令和4年中に公開見込。

### 4 廃棄物・資源循環

#### 施策 ごみの発生抑制と資源循環の推進

環境指標	基準年(H26)	H28	H29	H30	R1	R2実績 (目標)
市民1人一日あたりのごみ排出量(g)	917	907	900	894	892	868 (R5 850以下)
燃やせるごみへの資源物混入率(%)	29.4	25.0	23.2	23.0	22.4	25.5 (R5 21.0)
ふくいマル優エコ事業所登録数(社)	12	33	36	42	45	51 (36)

### 5 環境教育・環境学習



#### 施策 環境教育・環境学習の推進

環境指標	基準年(H26)	H28	H29	H30	R1	R2実績 (目標)
環境学習会参加者数(人/年)	2,500(H23~H26平均)	2,705	2,698	2,674	2,696	1,207 (2,660)
環境保全人材育成講座修了者数(人)	延べ174 (H21~H26実績)	延べ 215	延べ 221	延べ 231	延べ 249	延べ263 (延べ300)

#### 施策 学校教育における環境学習活動の推進

環境指標	基準年(H26)	H28	H29	H30	R1	R2実績 (目標)
福井市環境学習プログラム取組校(校)	69 (全市立幼小中学校)	69 (全市立幼小中学校)	69 (全市立幼小中学校)	69 (全市立幼小中学校)	69 (全市立幼小中学校)	69 (69)

令和2年度にコロナ禍の影響を直接受けたことにより、最終的な目標達成率は7割程度となりましたが、計画期間の4年目までに9割を上回る達成率となってきたことから、当初目指した第3次計画の目標は、全体の総括としては概ね達成できたものと考えられます。今後も、よりいっそう環境取組の推進に努めてまいります。

発行時以降、データを変更する場合があります。

## 2 福井市環境推進会議の活動実績



### 福井市環境推進会議の 令和2年度の活動実績

#### 福井市環境推進会議について

「福井市環境基本計画」を推進するため、市民、市民組織、事業者、行政により構成され、環境保全意識の向上に関する事業を協働で実施しています。

構成：総会、理事会（役員17名）、3部会

会員：64企業・団体、4個人（令和3年3月末日現在）

### 共通事業

#### 福井市環境フェア

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、「環境フェア」を中止し、環境パネル展を代替開催しました。

#### 三部会連携事業

福井市環境推進会議が令和3年度に10周年を迎えるにあたり、更なる認知力向上と活動趣旨の周知を図るため、シンボルマークとスローガンを公募により決定しました。



### 自然創造部会

#### 守り伝えたい自然の保全活用

上郷地区でムササビの生息調査を行い、日野川で生き物観察会を行いました。

#### 足羽三山の生態系保全

「足羽三山の SATOYAMA を守る会」と連携し、足羽山の竹林整備を行うなど里山保全活動に努めました。  
また環境教育部会で行われたみんなの環境講座では、足羽山竹林整備で伐採した竹材で竹うちわを作成する講座を行いました。

#### 自然ファンクラブ事業

自然環境保全に関する知識や技術習得のための学習会等を開催し、活動への積極的な参加を促し、人材育成を行いました。

#### 福井市のすばらしい自然コンテスト

福井市内のすばらしい自然に触れ合うことで、その美しさや大切さに気付いてもらい、自然環境保全について考えるきっかけとしてもらうことを目的に写真の作品コンテストを開催しました。



最優秀作品  
「飛び切りの涼を求めて」

### エネルギー・資源部会

#### 「グリーンカーテン」の設置

商店街の潤いや賑わいを創出し、さらに生活スタイルの低炭素をPRするため、西武福井店（正面）及びえちぜん鉄道福井駅（正面）に「グリーンカーテン」を設置しました。



#### 企業交流会

会員企業による講演を通じて、SDGs（持続可能な開発目標）を環境政策の面から実現するための企業の役割について、今後、具体的にどのようなことに取り組みれば良いか、最新の知見を会員企業及び市内事業者と共有しました。

### 環境教育部会

#### みんなの環境学習（7講座）

市民を対象として、身近な環境に関するテーマについて講義を実施しました。

#### 児童館出前講座（10児童館10講座）

環境問題や環境保全に主体的に関わる能力や行動を育成することを目的に、市内児童館を対象として、電気・水・ごみについて講座を実施しました。

#### 青年向け講座（6講座）

グローバルな視点で地球温暖化やエコのことについて考えられる人材を育成することを目的に、青年を対象として、各国のエコ事情や環境について学ぶ講座を実施しました。

# 第3部 福井市の環境状況

## 1 自然環境

### 守り伝えたい福井市の優れた自然

福井市環境推進会議自然創造部会では、福井市の豊かな自然を守り育て、将来に伝えていくための取組を進めています。同部会が策定した「守り伝えたい福井市の優れた自然」14箇所のうち、令和2年度に活動した2箇所を紹介します。

#### 上郷地区(山ぎわの水田・周辺の森林)



#### みどころ

山中に存在する水田と集落で、集落周辺には畑や水田が開かれ、これを取り囲むように背の高い林が存在しています。この良好な里地環境を利用してサシバ、サンコチョウ、ムササビなどが生息しています。

令和2年6月に行った調査では、ムササビの姿、鳴き声は確認できませんでしたが、福井県レッドデータブックにおける県域絶滅危惧種類<sup>※</sup>のヨタカ(夏鳥)の鳴き声を確認することができました。



#### 日野川



#### みどころ

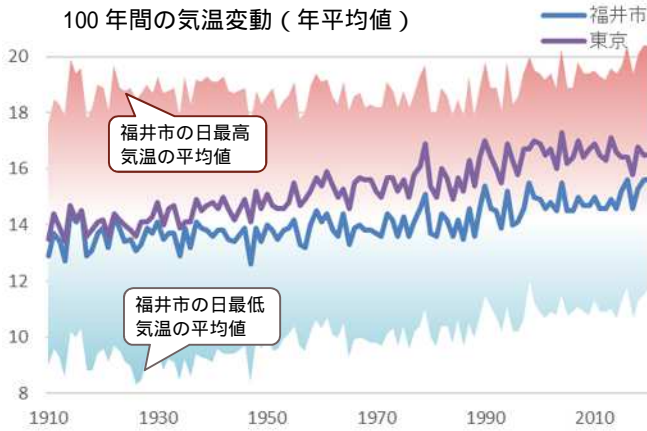
海老助町から防災ステーションのある土橋町にかけて、自転車道の脇にソメイヨシノ、コマツトメ、シダレザクラなど約260本が並んでいます。春にはサクラを眺めながらのサイクリングに最適です。

令和2年8月に行った調査では、ツチガエルやボラ、アカミミガメやマハゼなど、様々な生き物が生息していることが確認できました。

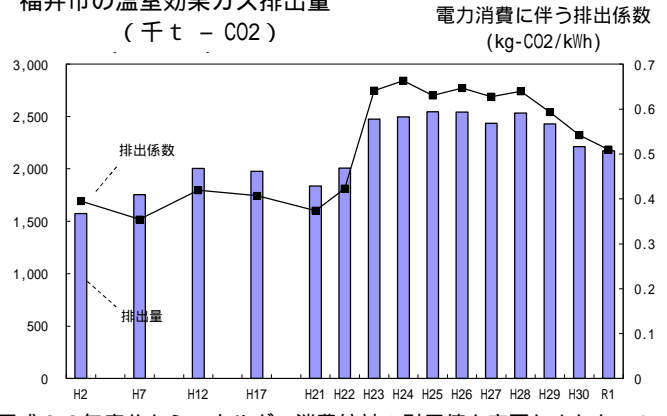


# 地球温暖化

## 温暖化の現状



福井市の温室効果ガス排出量  
（千 t - CO<sub>2</sub>）



（平成26年度分からエネルギー消費統計の引用値を変更しました。）

福井市においても、平均気温は上昇しており、全国同様温暖化の傾向にあります。また、福井市における温室効果ガス排出量のうち、電力の消費に伴う分が半分程度を占めています。そのため排出係数の増加は温暖化効果ガスの排出の増加と連動しています。

## 温室効果ガスの削減に向けた取組

### 太陽光発電設備導入量の増加

福井市では、平成13年度から28年度まで住宅用太陽光発電設備の設置に対する補助を行ってきました。平成28年度末までの累計補助実績は、2,574件（11,440kW）となっています。

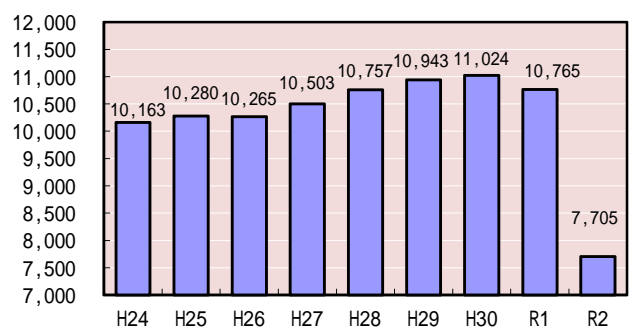
国の再生可能エネルギーの買取制度による後押しもあり、補助終了後も、福井市の太陽光発電設備導入量は増加しています。



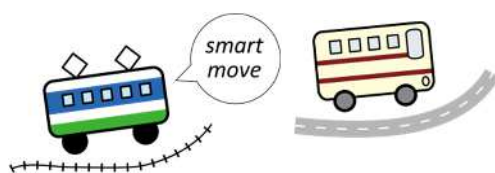
### 公共交通機関の利用促進活動

徒歩や自転車、公共交通機関を移動の中心とした環境負荷の少ない交通環境整備を進めています。

### 福井市の公共交通機関の乗車人数



令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止による休校や観光客の減少、外出自粛の影響を受けたため、乗車人数が大幅に減少しています。



発行時以降、データを変更する場合があります。



## 4 大気

大気汚染については、二酸化窒素やベンゼン、ダイオキシン類等の11項目について環境基準が定められています（ダイオキシン類については、「8 化学物質」に記載）。

福井市内では、一般環境大気測定局3箇所（うち1局はクリーンセンター測定局も兼ねる）、自動車排出ガス測定局1箇所及びクリーンセンター測定局3箇所を設置し、環境基準の達成状況等を把握しています。また、緊急時に迅速かつ的確に対応できるように、これらの測定局と中央監視局を通信回線で結ぶテレメータシステムにより大気汚染状況を常時監視しています。

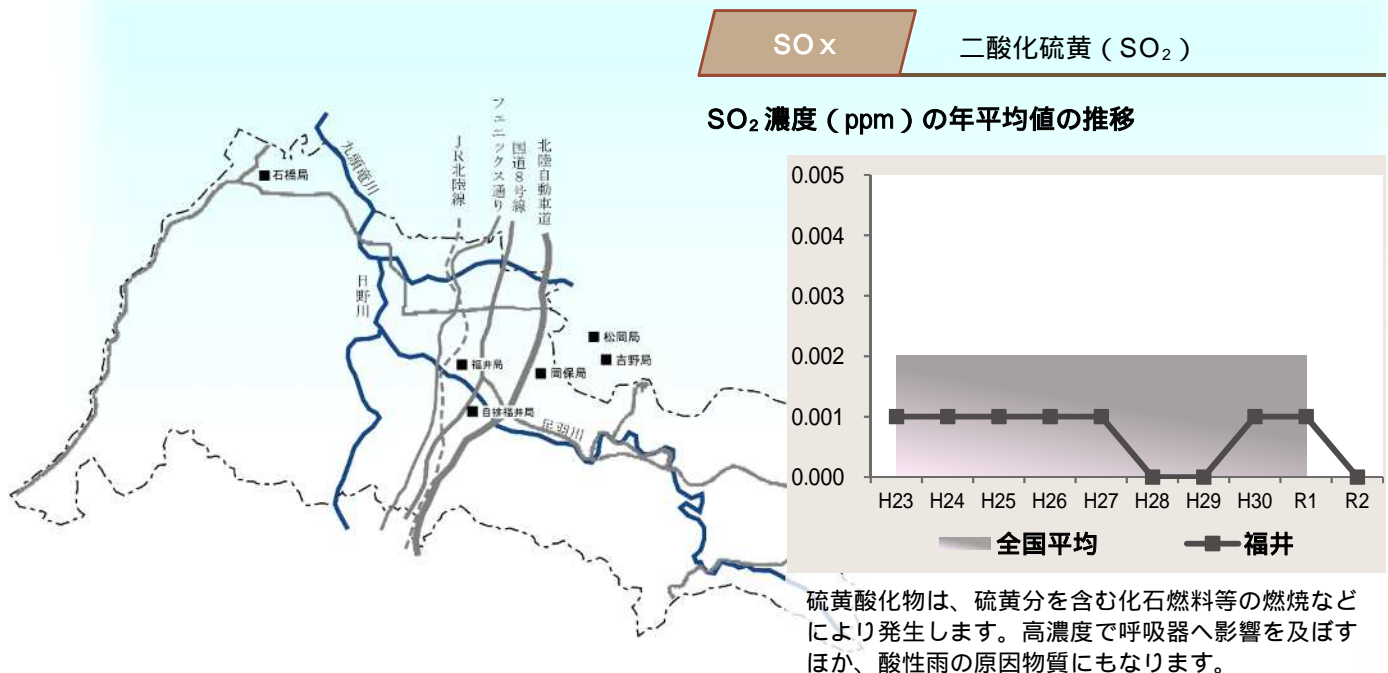
### 大気汚染に係る環境基準等

令和2年度における環境基準の達成状況は、二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質及び微小粒子状物質について、全測定局で環境基準を達成しており、良好な大気環境が維持されています。

光化学オキシダントについては、全測定局で環境基準を超過しましたが、光化学オキシダント注意報の発令はありませんでした。なお、令和2年は、全国15都府県で注意報等が発令されました。

#### < 令和2年度の環境基準達成状況 >

区 分	局 名	二酸化硫黄	二酸化窒素	浮遊粒子状物質	オキシダント	微小粒子状物質
一般環境大気測定局	福井局				×	
	石橋局				—	—
	岡保局				×	—
自動車排出ガス測定局	自排福井局	—			—	



NO<sub>x</sub>

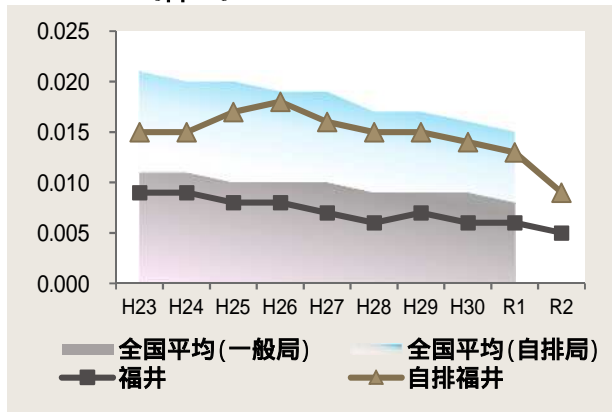
二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>)

SPM

浮遊粒子状物質

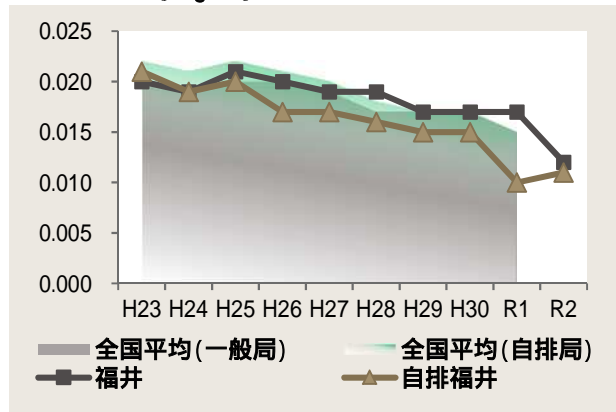


NO<sub>2</sub> 濃度 (ppm) の年平均値の推移



窒素酸化物は、主に化石燃料の燃焼に伴い、燃料又は空気中の窒素が酸化されることにより発生します。暖房用に燃料が多く使用される冬に濃度が高くなる傾向があります。

SPM 濃度 (mg/m<sup>3</sup>) の年平均値の推移

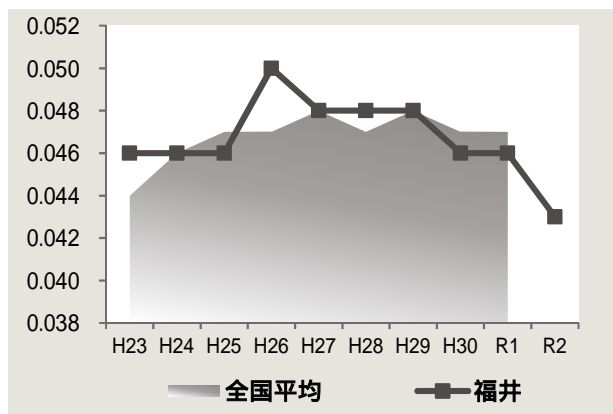


浮遊粒子状物質は、工場のばい煙や自動車の排ガス等から発生し、気道や肺胞に沈着して呼吸器に影響を及ぼすといわれています。

Ox

光化学オキシダント

オキシダント濃度 (昼間の日最高1時間値: ppm) の年平均値の推移



光化学オキシダントは、工場の煙や自動車の排ガスなどに含まれている窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>) や炭化水素 (HC)、揮発性有機化合物 (VOC) などが、太陽からの紫外線を受けて光化学反応を起こして生成される、酸化力の強い物質の総称です。

光化学オキシダントの濃度が高くなると、目やのどに刺激を与え、「目がチカチカする」「のどが痛い」等の健康被害がみられることがあります。

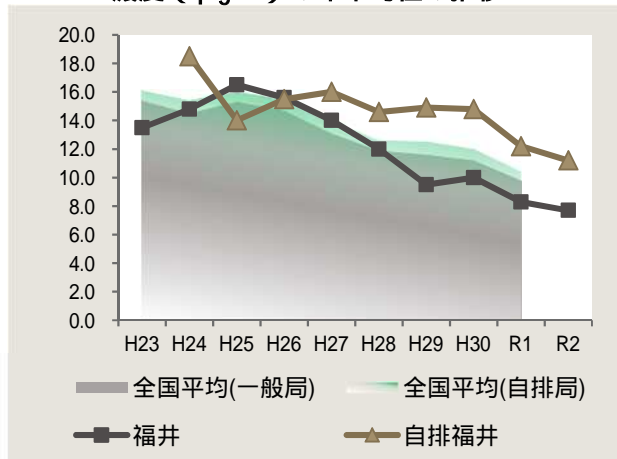
日差しが強い、気温が高い、風が弱い日などに高濃度になりやすく、注意が必要です。



PM<sub>2.5</sub>

微小粒子状物質

PM<sub>2.5</sub> 濃度 (μg/m<sup>3</sup>) の年平均値の推移



PM<sub>2.5</sub> は、大気中に浮遊する粒子のうち、直径が 2.5 μm 以下 (1 μm は 1 mm の千分の 1) のごく小さな粒子です。粒子が非常に小さい (髪の毛の太さの 30 分の 1) ため、肺の奥深くまで入りやすく、喘息や気管支炎などの呼吸器系疾患への影響のほか、肺がんのリスクの上昇や循環器系への影響も懸念されています。



< 出典: 米国 EPA >

## 有害大気汚染物質の状況

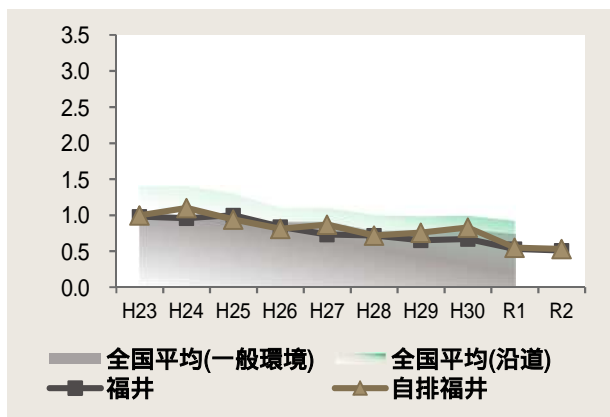
令和2年度は、優先取組物質23物質のうち、六価クロム<sup>1</sup>及びダイオキシン類<sup>2</sup>を除く21物質について調査<sup>3</sup>を実施しています。

環境基準が定められている4物質及び指針値が定められている11物質について、環境基準値及び指針値を超過した物質はありませんでした。

- 1 六価クロムは、形態別の分析方法が確立していないことから、クロム及びその化合物として分析
- 2 ダイオキシン類の調査結果については、「8 化学物質」に記載
- 3 平成30年度までは、県が調査を実施

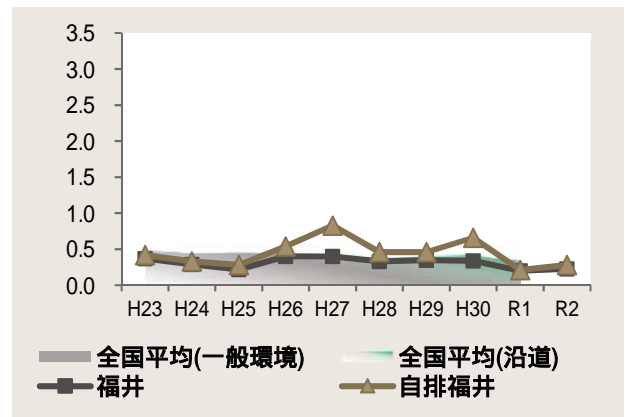
### ベンゼン

環境基準：3.0  $\mu\text{g}/\text{m}^3$



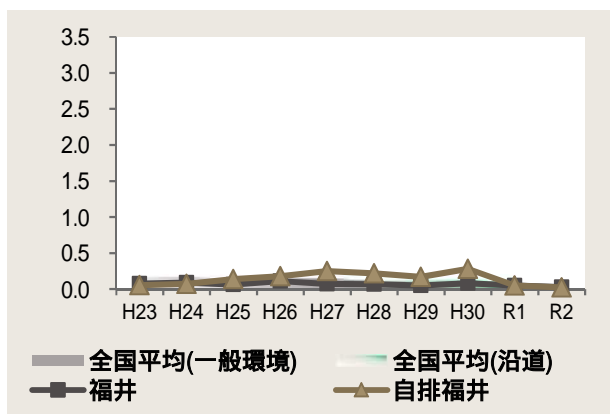
### トリクロロエチレン

環境基準：130  $\mu\text{g}/\text{m}^3$



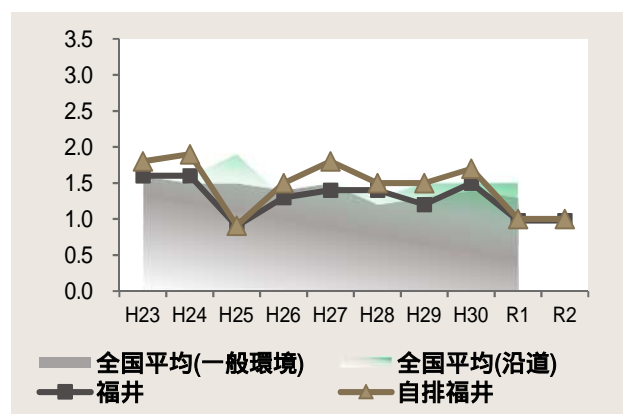
### テトラクロロエチレン

環境基準：200  $\mu\text{g}/\text{m}^3$



### ジクロロメタン

環境基準：150  $\mu\text{g}/\text{m}^3$



## 5 公共用水域の水質

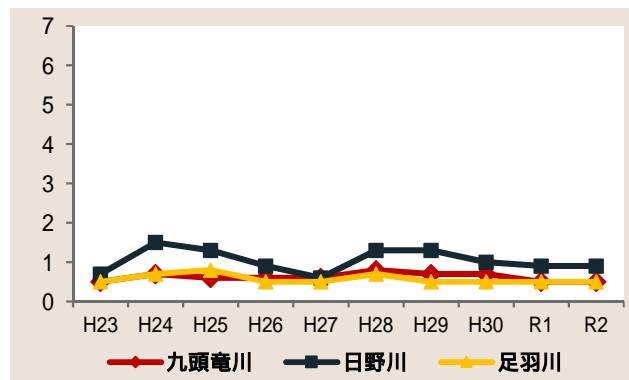
福井市では、市内 14 河川 19 地点及び地先海域 7 地点において、環境基準項目及び要監視項目の水質検査を定期的実施しています。

令和 2 年度における環境基準の達成状況は、「人の健康の保護に関する環境基準」については、すべての調査地点で基準を満たしていました。また、BOD や COD などの「生活環境の保護に関する環境基準」については、類型指定された河川及び海域において、ほぼ基準を満たしていました。

### 河川

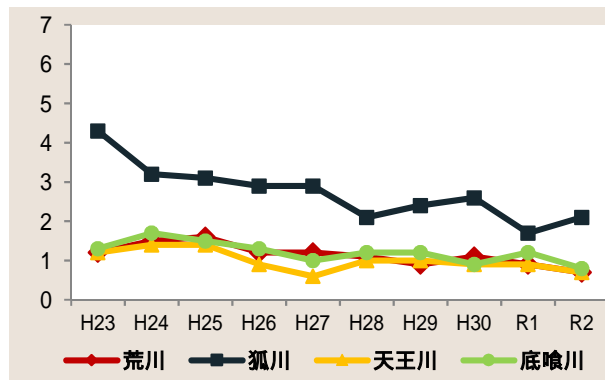
BOD の年度 75% 値 (mg/L)

#### 九頭竜川、日野川、足羽川



九頭竜川水系の主要河川（九頭竜川、日野川、足羽川）の BOD については、環境基準を満たした低い値で推移しており、良好な水質が維持されています。

#### 荒川、狐川、天王川、底喰川

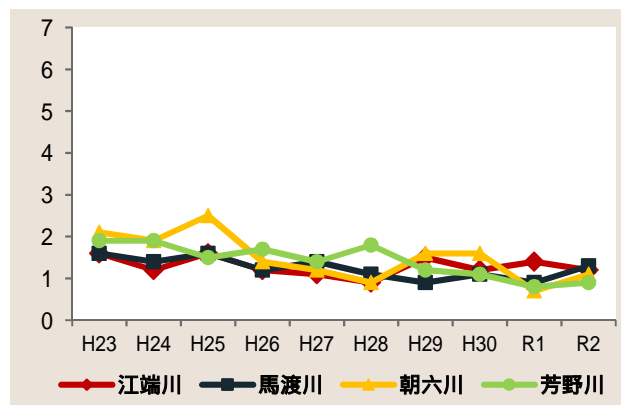


九頭竜川水系の支派川（類型指定あり）の BOD については、年々きれいになっており、環境基準を満たした良好な水質となっています。

### 河川

BOD の年度 75% 値 (mg/L)

#### 江端川、馬渡川、朝六川、芳野川

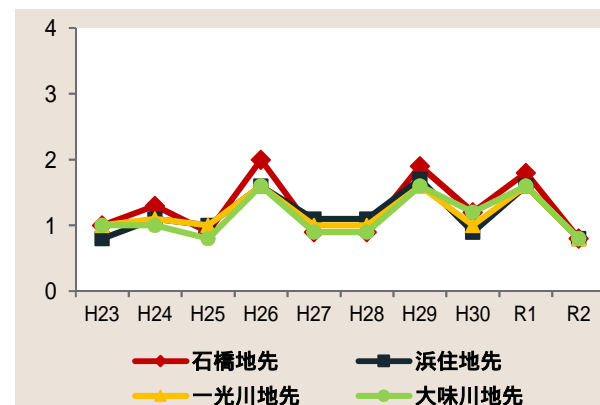


九頭竜川水系の支派川（類型指定なし）の BOD についても、他の支派川と同じように年々きれいになっており、良好な水質となっています。

### 海域

COD の年度 75% 値 (mg/L)

#### 石橋地先、浜住地先、一光川地先、大味川地先



海域の COD については、環境基準を満たしており、良好な水質が維持されています。

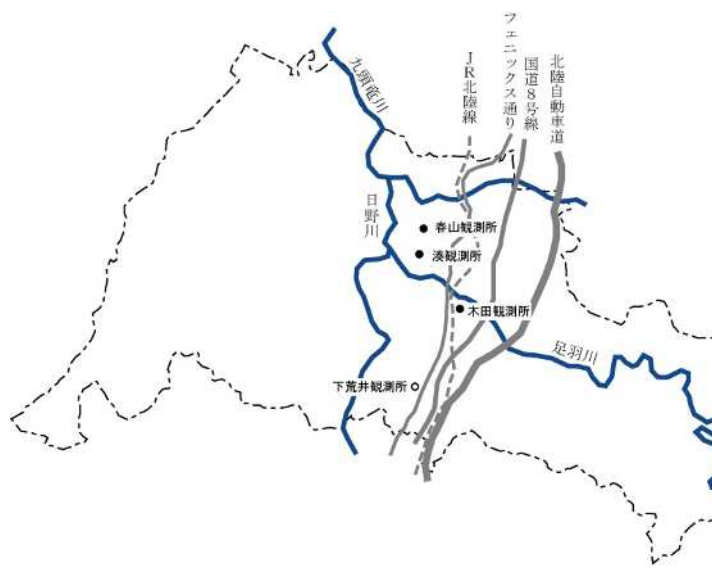
BOD：河川の水質汚濁の度合いを示すもので、この数値が大きいくほど河川が汚れていることを表します。  
COD：海域・湖沼の水質汚濁の度合いを示すもので、BOD同様、この数値が大きいくほど海域等が汚れていることを表します。

## 6 地盤沈下

地盤沈下は、大量の地下水を汲み上げることにより、帯水層の水圧が下がり、これによって粘土層中の水がしぼり出され、その結果、粘土層が収縮するため起こるとされています。

### 地盤沈下・地下水位の観測

福井市では、昭和40年頃から下荒井などの南部地域において地盤沈下が認められており、福井県と協力して、昭和51年度から地盤沈下と地下水位の観測を行っています。

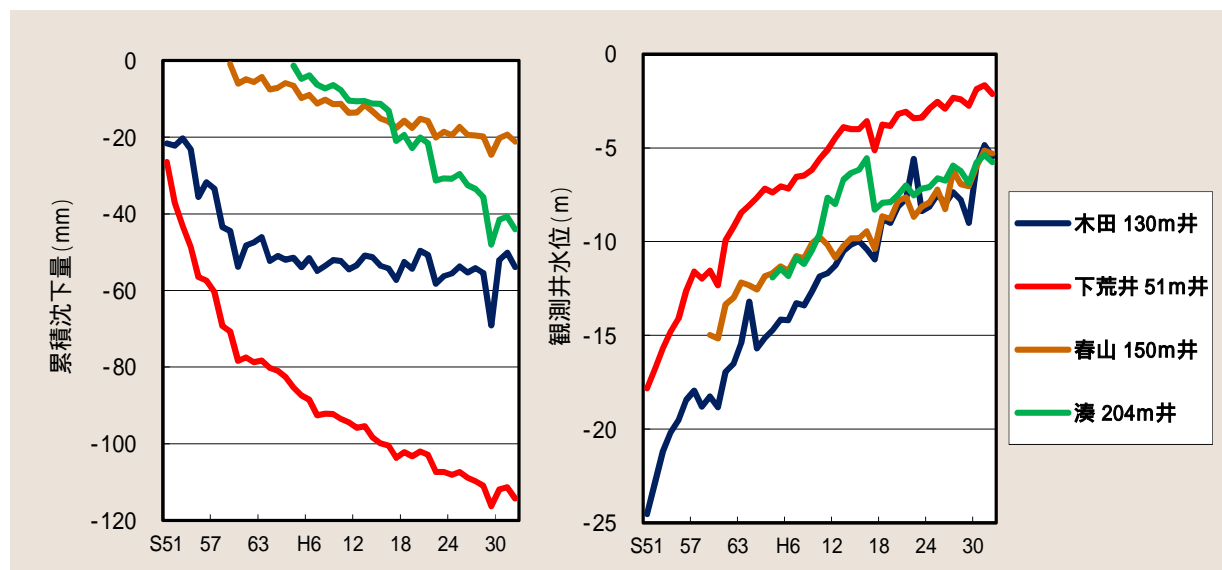


観測所名	所在地	井戸深度	設置者
木田観測所	明倫中学校敷地内	28m	県
		130m	市
下荒井観測所	八幡神社境内	51m	県
春山観測所	春山小学校敷地内	43m	市
		150m	市
湊観測所	湊小学校敷地内	204m	市

### 地盤沈下・地下水位の経年変化

昭和60年頃から地盤沈下は沈静化しています。これは、工場などの地下水使用量の減少などにより、地下水位が回復してきているためです。

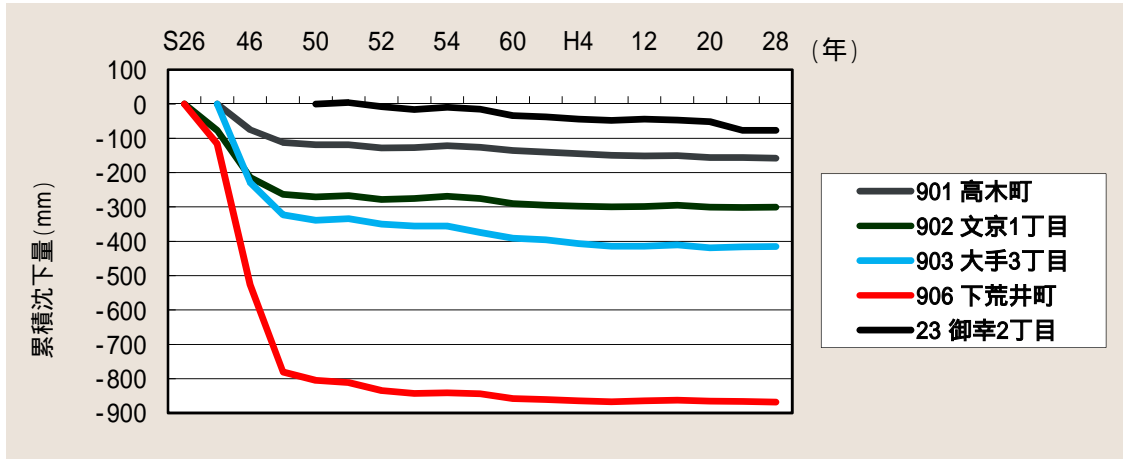
しかし、消雪目的の地下水利用により冬季に地下水位が低下するため、現在も少しずつ地盤が沈下しています。なお、平成29年度は大雪の影響により、例年よりも大きな地盤の沈下が見られました。



## 水準測量による地盤変動の現況

福井市では、国、福井県の実施に合わせて4年に1度、水準測量を実施しています。

昭和50年頃までは、下荒井などの南部地域において年間1cm以上の水準点の沈下が観測されましたが、平成4年度以降の測定では、ほとんどの地点において年間5mm未満の沈下量であり、市内の地盤沈下は総じて沈静化しているといえます。



## 7 騒音

福井市では、道路に面する地域において、環境基準の達成状況の調査を行っています。令和2年度の調査結果は、次のとおりです。

### 道路に面する地域の騒音調査結果

幹線道路から50mの範囲にあるすべての住居等を対象に、実測値や交通量等のデータから、個別住居ごとの自動車騒音レベルを推計し、環境基準を超過する住居等の割合を評価しています。市内の幹線道路4路線9評価区間で調査を行ったところ、環境基準達成率は99.6%でした。

評価対象 住居等戸数(戸)	環境基準達成率(%)		
	昼間+夜間	昼間	夜間
2,548	99.6	99.8	99.6



## 8 化学物質

福井市では、ダイオキシン類について、大気、公共用水域の水質・底質、地下水及び土壌それぞれの環境媒体における環境基準の達成状況の調査を行っています。

### ダイオキシン類調査結果

令和2年度の調査結果は、次のとおりです。いずれの媒体においても、すべての地点で環境基準を達成していました。

#### 大気

単位：pg -TEQ/m<sup>3</sup>

調査地点		測定値	環境基準
一般地域	豊島2丁目	0.023	0.6
発生源周辺地域	石橋町	0.0095	

#### 公共用水域

単位：pg -TEQ/L（水質）、pg -TEQ/g（底質）

調査地点		測定値		環境基準
		水質	底質	
日野川	清水山橋	0.10	0.51	水質：1 底質：150
足羽川	水越橋	0.073	0.20	
底喰川	西野橋	0.058	0.55	
八ヶ川	高江橋	0.089	2.5	
馬渡川	末端	0.25	1.4	
荒川	水門	0.21	0.18	
天王川	末端	0.093	0.41	
狐川	狐橋	0.23	1.5	
江端川	江守橋	0.28	0.82	

#### 地下水

単位：pg -TEQ/L

調査地点		測定値	環境基準
発生源周辺地域	白方町	0.042	1

#### 土壌

単位：pg -TEQ/g

調査地点		測定値	環境基準
発生源周辺地域	白方町	4.0	1,000

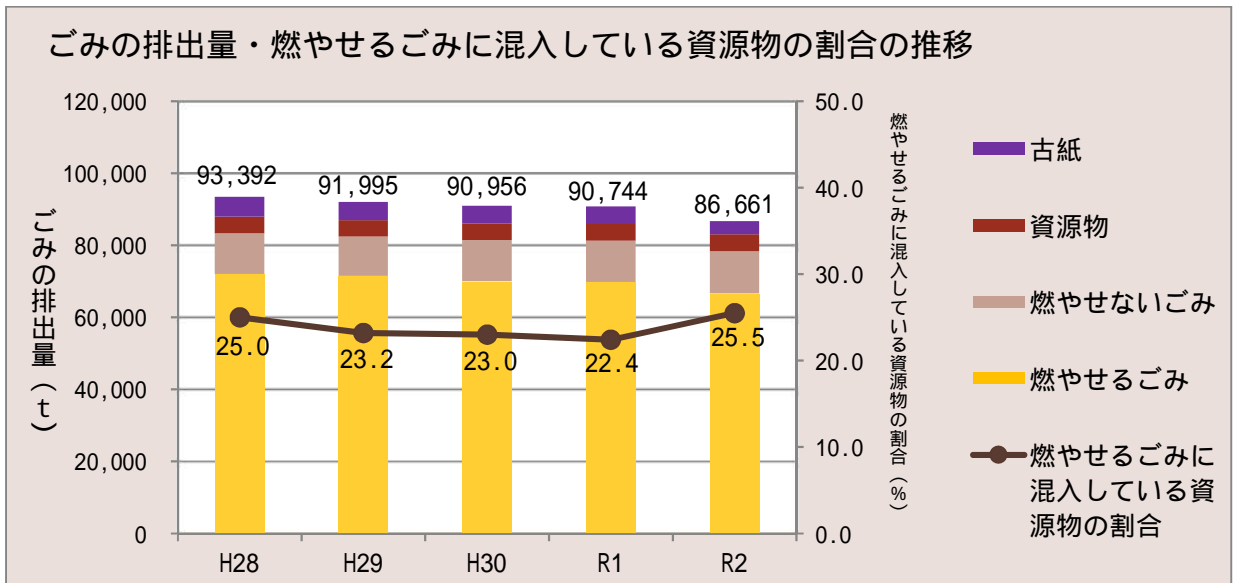
※ 測定値及び環境基準は、2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した値（毒性等量：TEQ）

# 9 ごみの排出と処理状況

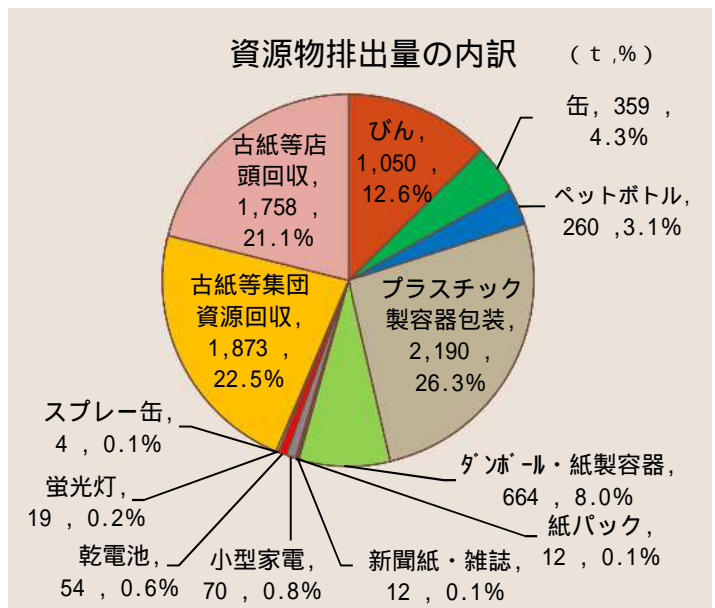
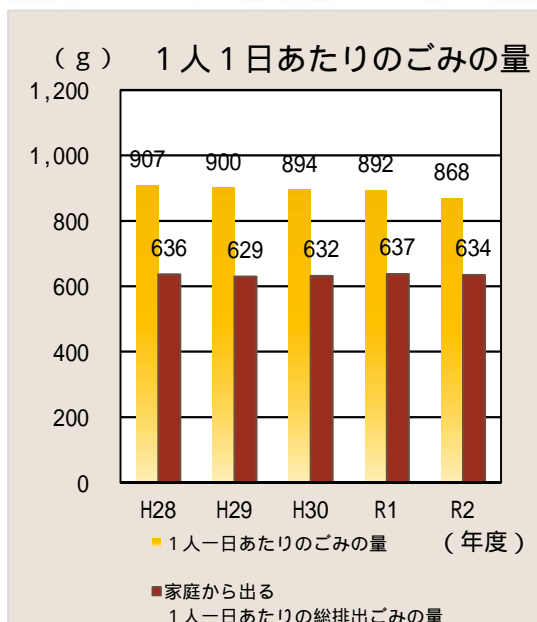
## 福井市のごみ処理

令和2年度のごみ総排出量は、86,661tで、前年度に比べ4,083t(4.50%)の減少となりました。減少の要因としては、新型コロナウイルスによる飲食店等への影響など、事業活動の縮小が考えられます。また、燃やせるごみに混入している資源物の割合は、25.5%と前年度より3.1ポイント増加しました。

「福井市資源物及び廃棄物(ごみ)処理基本計画」に掲げているとおり、「リサイクル」の取組に加え、ごみの発生抑制「リデュース」、不要物の再利用「リユース」に取り組むことにより、廃棄物そのものの削減を引き続き図っていかねばなりません。



## 福井市民 1人あたりのごみの量



福井市では、令和5年度までに市民1人1日あたりのごみ排出量を850gにすることを目標に掲げており、市民・事業者・行政が協働して、ごみの削減に取り組んでいく必要があります。

# 10 美しいまちづくり

## 都市環境の美化

ポイ捨てはやめよう！

ふんの始末は飼い主が、責任をもって  
処分しましょう！

自動販売機には回収容器を設置しましょう！

### 重点区域



重点区域内で条例に違反する行為を行った人に対しては、市長が勧告や命令を行い、命令に従わない場合には、罰金、過料を課することができます。

重点区域内の福井駅周辺において、ポイ捨て防止を啓発する活動を実施しています。（令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により未実施）



### 福井市空き缶等の散乱及びふん害の防止に関する条例

目的：都市環境の美化を図り市民の快適な生活を確保し、清潔で美しいまちをつくる

対象者：事業者（容器入り飲料、タバコ、チューインガムの製造者及びこれらの商品の販売者）

市民等（市内居住者、勤務者、滞在者及び市内を通過する人）

責務：重点地域における自動販売機設置者は、回収容器を設置し、適正に管理しなければならない

市民等は、自分で出した空き缶などは持ち帰るか、回収容器や吸殻入れ等に入れなければならない

飼い主は、重点地域内で飼い犬等がふんをしたときには、直ちに回収しなければならない

区域：福井市全域



啓発活動の様子（令和元年10月）

### 不法投棄対策

不法投棄防止パトロール

山間部や高速道路脇など、通常人の目が届きにくい所のパトロールを行っています。

監視カメラの設置

目的：不法投棄の未然防止、不法投棄があった場合の行為者の特定

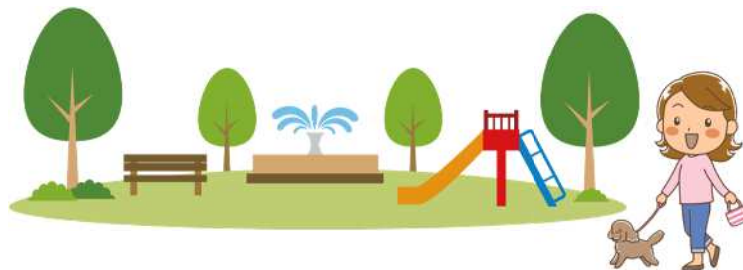
設置場所：山間部の道路沿い、山林・河川敷等で不法投棄が多発している場所、不法投棄が拡大するおそれがある場所 など

### その他

空き地等の清潔保持

動物（犬・猫等）の死体処理

野外焼却の指導





福井市環境推進会議が開催した各種コンテスト等の入賞作品をご紹介します。

### 福井市環境推進会議シンボルマーク 入賞作品

最優秀賞



福井市環境推進会議

入選



### 福井市環境推進会議スローガン 入賞作品

最優秀賞

「大切な資源 大切な環境 大切な子ども達へ」

入選

「私のふるさと福井 こども達へ」

「我がよきふるさと ふくいの人と自然」

「環境を守り持続可能な社会の実現に貢献しよう」

### 福井市のすばらしい自然コンテスト 入賞作品

最優秀賞



優秀賞



特別賞



ふくいの環境（令和3年度版）

令和4年3月発刊

**福井市市民生活部環境事務所環境政策課**

〒910-8511

福井県福井市大手3丁目10番1号

TEL 0776-20-5609 FAX 0776-20-5754

E-mail : [kansei@city.fukui.lg.jp](mailto:kansei@city.fukui.lg.jp)

